

# かながわ資料ニューズレター



## 新着資料から

### ◆ 『日本の開国と多摩 生糸・農兵・武州一揆 歴史文化ライブラリー 503』

藤田 覚著 吉川弘文館 2020年 [K25.98/46]

横浜開港は、多摩地域に大きな影響を与えました。当時、八王子宿周辺まで外国人遊歩区域に指定されていたため、スイス人貿易商ブレンワルドなど多くの外国人が訪れました。生麦事件が起きると、幕府は外国人の保護を目的とした見張番所を設置させます。また、尊王攘夷運動が活発となり治安が悪化すると、幕府はこれを鎮圧する農兵を多摩地域に組織させます。このように、様々な形で多摩地域は負担を強いられました。さらに、麻疹や「アメリカ国の尾裂狐」と呼ばれたコレラが流行し、人々を不安に陥れました。一方、生糸の輸出が活況となり、生糸の集積地となった八王子と横浜を結ぶ道は「絹の道」といわれ、経済は豊かになりましたが、その影響で米価が高騰して貧困層を苦しめました。そこへ慶応2年(1866)の養蚕の大不作が追い討ちをかけ、横浜商人に「打ちこわし」を行なう、武州一揆が起きたと筆者は分析しています。本書は、こうした開国と多摩地域の関係をつぶさに解説しています。



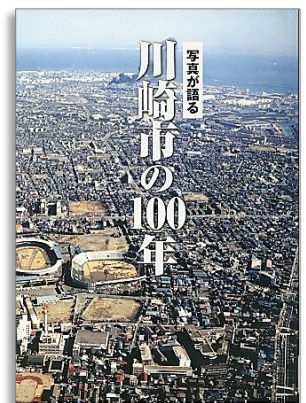
### ◆ 『写真が語る川崎市の100年』

いき出版 2020年 [K26.21/31/100]

本書は、川崎市が2024年に市制100周年を迎えることから、これまでの100年間を振り返る意味合いで作成されました。

この写真集の特徴は、写真一つ一つに詳細な説明が付いている点です。それによって、どこにでもあるような通りや辻が、実は交通の要衝であったり、大切な生活の場であったことを、たとえ人が写っていないだけでも理解することができます。

また、本写真集には祭りや伝統行事の写真が、巻頭カラーを始めとして、数多く取り上げられています。川崎市というと工業地帯のイメージが強く、近年は武蔵小杉を代表とする高層住宅街のイメージもありますが、昭和20年代までは多摩川の恩恵を受けた農村地帯が多く、豊作を祈り、収穫を祝うための行事が、多種多様に営まれていたことを写真は教えてくれます。



## 新着の神奈川資料

新着資料の一部をご紹介します。

タイトル	著者名	出版者	出版年	請求記号
新訂 吾妻鏡 4 頼朝将軍記 4 頼家将軍記 建久三年 1192～建仁三年 1203	高橋秀樹編	和泉書院	2020	K24/497/4
古地図で楽しむ富士山 爽BOOKS	大高康正編著	風媒社	2020	K291/901
源氏かたな旅 刀剣聖地巡礼ガイド 刀剣画報BOOKS		ホビージャパン	2020	K291/902



タイトル	著者名	出版者	出版年	請求記号
相模原事件・裁判傍聴記 「役に立ちたい」と「障害者ヘイト」のあいだ	雨宮処凛著	太田出版	2020	K32.54/2
福祉の旅路 障害者の自立生活を支援する	川島美行著	幻冬舎メディアコンサルティング	2020	K36.31/83
パンドラの箱は閉じられたのか 相模原障害者殺傷事件は終わっていない	月刊『創』編集部編	創出版	2020	K36.54/60
富士山噴火の考古学 火山と人類の共生史	富士山考古学研究会編	吉川弘文館	2020	K45/296
究極の「三方よし」経営 日本一の美容医療グループ達成の原動力	相川佳之著	アチーブメント	2020	K49.52/21
地図で読み解く小田急沿線	岡田直監修	三才ブックス	2020	K68/641
梶山関山と三浦乾也一門 梶山良助没後100年追善、電信用碍子国産化150年記念	三武英行著	右文書院	2020	K70.63/1
桂歌丸正調まくら語り 芸に厳しく、お客にやさしく 竹書房文庫	桂歌丸著	竹書房	2020	K77.1/125
文学の認知空間 近代日本文学と東京	佐藤義雄著	蒼丘書林	2020	K91/134
今ひとたびの高見順 最後の文士とその時代	山田邦紀著	現代書館	2020	K97/187
心友 素顔の井上ひさし	小川荘六著	作品社	2020	K97/188

## 《かながわ資料／新聞・雑誌室 利用のご案内》

当室では、神奈川県に関する資料や調査のしかたに関するご相談をお受けしています。来館もしくは電話・FAX・Eメール・手紙などでお気軽にご相談ください。

※Eメールの場合はホームページからお申し込みください。

○開館時間：火曜～金曜日 午前9時<sup>※</sup>～午後7時 / 土曜・日曜・祝日 午前9時<sup>※</sup>～午後5時

※現在、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため、**午前9時30分開館**となっています。

○休館日：毎週月曜日（国民の祝日に当たる場合は開館）・毎月第2木曜日・年末年始等

◎個人への館外貸出は行っていません。著作権法に基づく複写サービスを行っております。

神奈川県立図書館 かながわ資料ニュースレター 第73号

令和2年（2020）10月30日 発行

神奈川県立図書館 企画サービス部地域情報課

〒220-8585 横浜市西区紅葉ヶ丘9-2

電話 045-263-5904（かながわ資料/新聞・雑誌室直通）

FAX 045-241-0985

ホームページ <https://www.klnet.pref.kanagawa.jp/>

※「かながわ資料ニュースレター」は当館ホームページでもご覧いただけます。

神奈川県立図書館

